

6 フォローアップ調査について

平成29年度及び平成30年度に元気づくり支援金を活用して事業を実施した団体を対象に、フォローアップ調査を行いました。

調査目的:「地域発 元気づくり支援金」のさらなる有効活用を図る観点から、支援金事業実施後も継続して地域に効果を及ぼしている事例等の状況を把握し、発信する。

1. アンケート調査

調査時期:令和3年 8～10月

調査対象:平成29年度及び平成30年度に実施された事業のうち、第三者評価が高かった事業を中心に選定

回収状況:回答団体数 平成29年度分:65団体 平成30年度分:71団体

調査方法:郵送、記名方式

調査内容:(1)支援金活用事業の効果について
(2)団体の現在の活動状況について

2. 追加調査(ヒアリング調査)

調査時期:令和3年 10～11月

調査対象:アンケート調査の回答のあった団体の中から、支援金の効果的な活用により継続的に事業展開している団体を各地域1つ選定

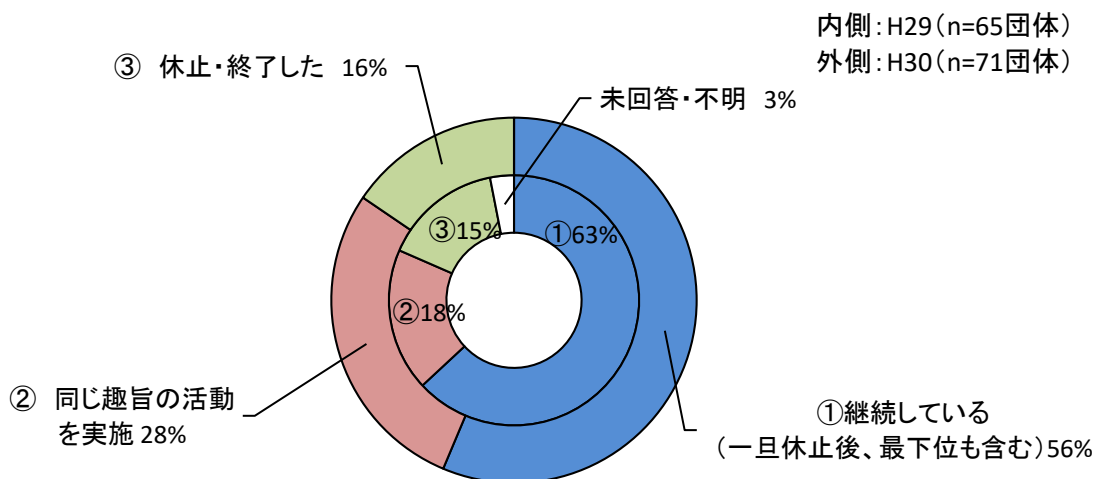
調査方法:聞き取り調査

調査内容:(1)最近の活動状況
(2)取組の効果や課題
(3)今後の事業展望等

1. アンケート調査結果

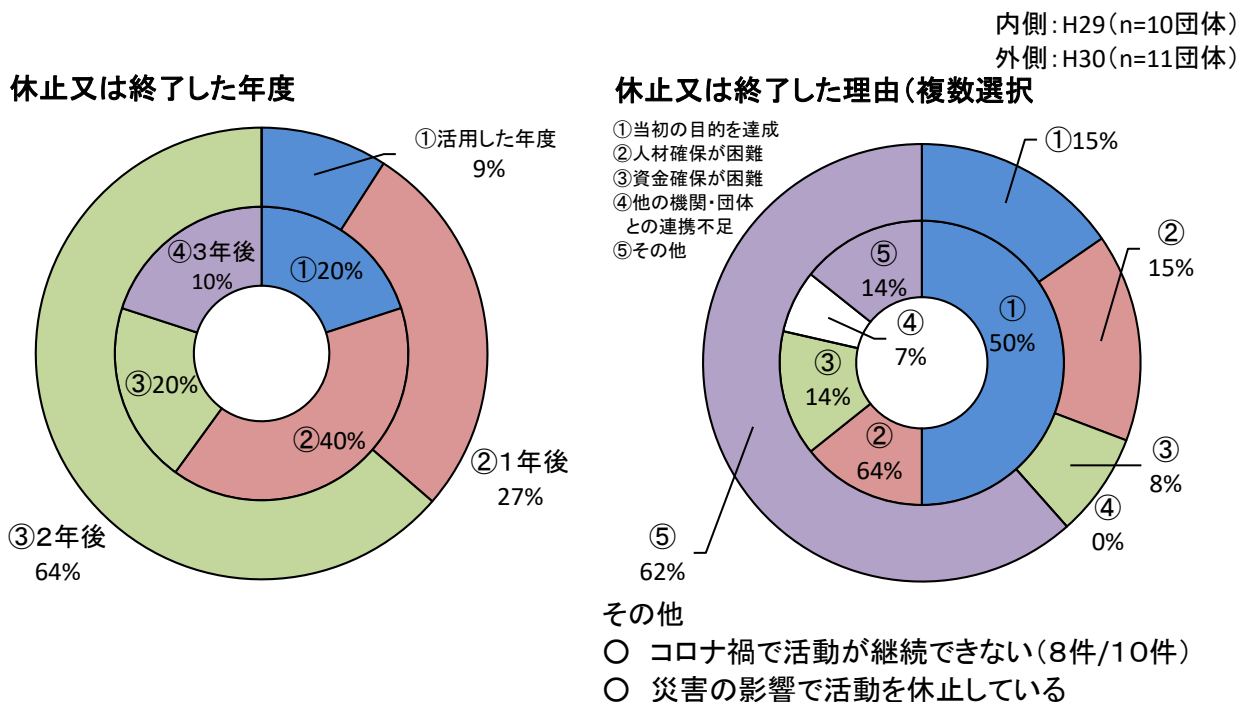
平成29年度及び平成30年度に元気づくり支援金を活用して事業を実施した団体を対象に、事業実施から一定期間経過後の地域への効果や団体の活動状況に関するアンケート

○元気づくり支援金活用後の団体活動について



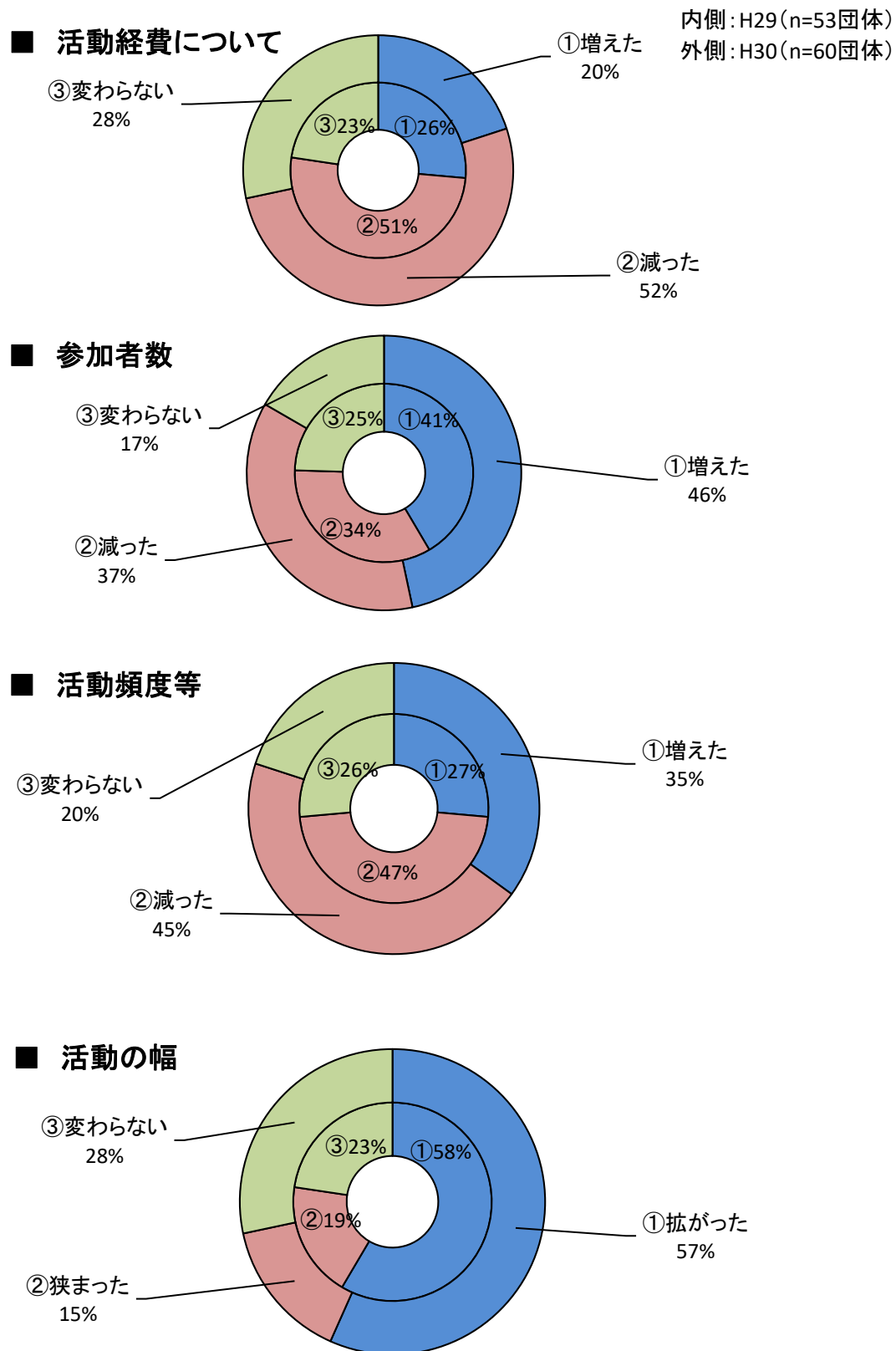
■ 元気づくり支援金を活用後も80%以上の団体が活動を継続している。

問 元気づくり支援金を活用後、休止又は終了した年度をお願いします。また、その理由をお願いします。



■ コロナ禍により活動休止又は終了している団体が多い。一方で、当初の目標を達成した等前向きな理由もみられる。

問 元気づくり支援金活用事業を実施した年度と、現在を比べて活動に変化はありましたか。

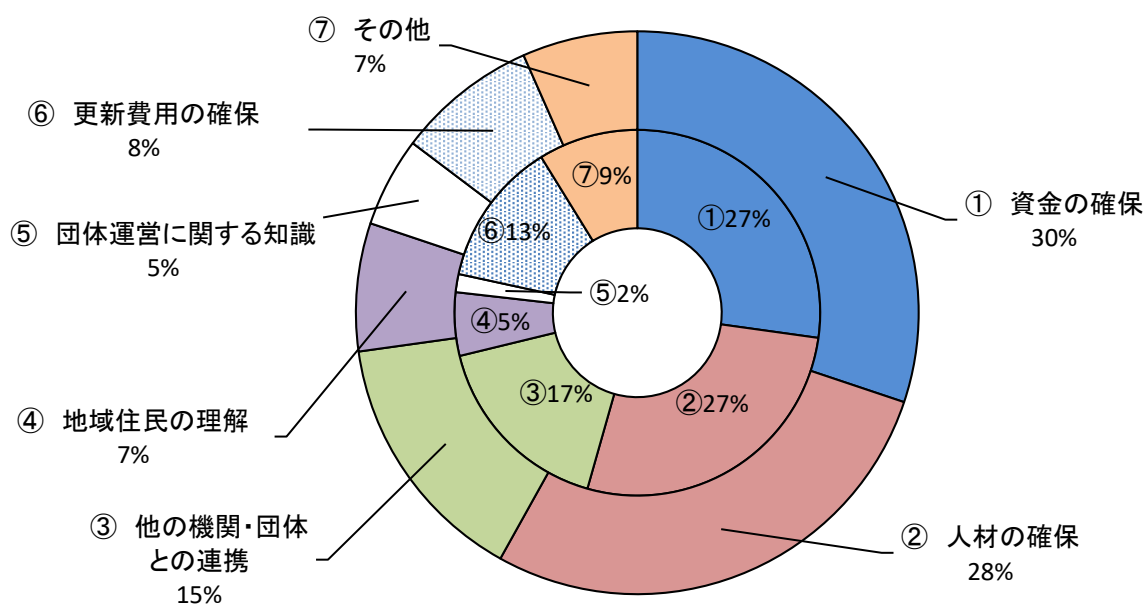


■ 元気づくり支援金を活用後、活動の幅が広がっている。

○活動を行っていく上での課題

内側：H29(n=53団体)
外側：H30(n=60団体)

問 活動していく上で、課題となっていることは何ですか。(複数回答可)



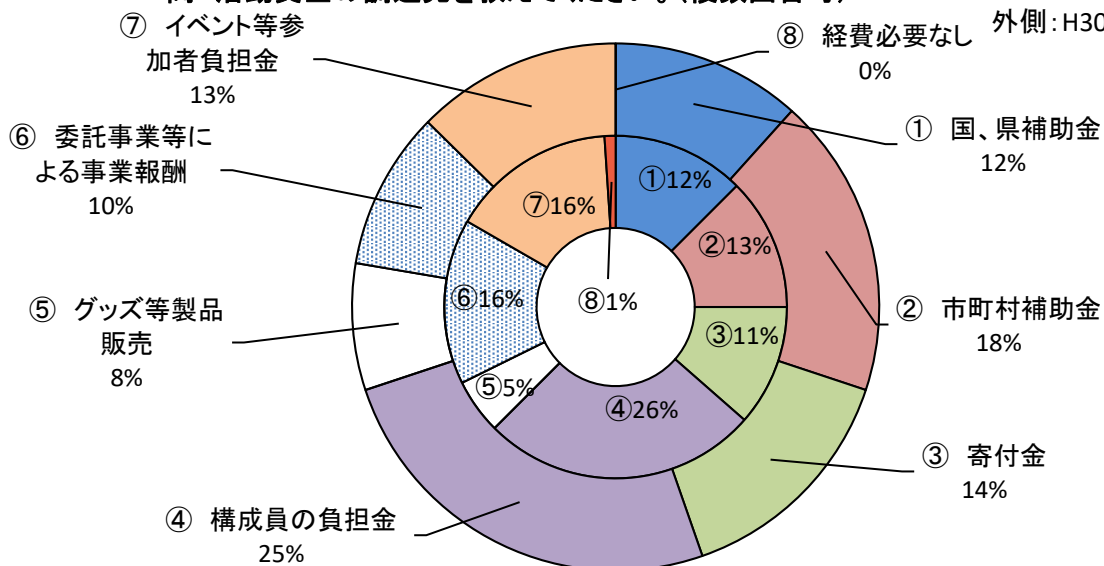
その他

- 広報活動
- 構成員の高齢化
- コロナ禍による活動制限
- イベントの幅を広げるために(組織間の)連携が必要

■ 活動を続けるには資金と人材が特に必要。

問 活動資金の調達先を教えてください。(複数回答可)

内側：H29(n=53団体)
外側：H30(n=60団体)



■ 市町村補助金や寄付金、構成員の負担金等が全体の50%以上を占める。

「地域発 元気づくり支援金」平成29年度・平成30年度実施事業に係る フォローアップ調査集計

回答団体数【地区別】

	佐久	上田	諏訪	上伊那	南信州	木曾	松本	北アルプス	長野	北信	合計
H 2 9	12	5	2	5	9	4	9	4	9	6	65
H 3 0	9	5	7	6	8	5	13	5	9	4	71

【問1】 設立時と比べた、構成員の人数の現状をお願いします。

	H29	H30
設立時と比べ、構成員が増加	21	32
設立時と比べ、構成員が減少	23	23
設立時と比べ、構成員が同数	10	8
未回答・不明	11	8

【問2】 現在、構成員を募集している場合はその方法や課題・工夫等があればお願いします。

- HPや募集チラシ、パンフレット
- ウェブサイト、SNS等での募集
- 構成員のネットワークによるクチコミ勧誘
- ハローワーク、民間求人サイト
- 人材確保のために、イベントに参加して呼びかけ
- お試し参加で興味を持ってもらうきっかけをつくっている
- ニュースレターやプレスリリースで情報発信している
- 自治体と連携して募集している
- 他

【問3】 元気づくり支援金を活用して取り組んだ活動（以下「活動」という。）を継続していますか。

	H29	H30
① 継続している。（一旦休止した後、再開した場合を含む。）	41	40
② 同じ趣旨の活動を実施している。	12	20
③ 休止・終了した。	10	11
未回答・不明	2	0

①、②を選んだ方は【問4】へ、③を選んだ方は【問9-1】へお進みください。

【問4】 活動は地域に対してどのような効果があると感じていますか。

- 地域住民を巻き込んだ活動となり、主体的な地域づくりが進んだ
- 交流人口の増加、人と人とのつながり
- 若者や高齢者の地域活動への参加
- 農産物の地産地消、食育・食農教育
- 地区への思いが深まり、愛着と絆ができる
- 地域のPRや観光誘客
- 地域の歴史を守り後世に残す
- 障がい者の方々への理解促進や社会参加
- 地域防災の向上（減災・防災対策）
- 観光振興・環境美化
- 他

【問5】 元気づくり支援金活用事業を実施した年度と、現在とを比べて活動に変化はありましたか。
次の番号からお選びください。

	活動経費		参加者数		
	H29	H30	H29	H30	
○活動経費 ①増えた ②減った ③変わらない	①	14	12	22	28
	②	27	31	18	22
	③	12	17	13	10
○参加者数 ①増えた ②減った ③変わらない (※ 構成員を除く事業への参加者数)	無回答	0	0	0	0

	活動頻度等		活動の幅		
	H29	H30	H29	H30	
○活動頻度等 ①増えた ②減った ③変わらない (※ イベント開催数、 支援金で整備した施設等の稼働率など)	①	14	21	31	34
	②	25	27	10	9
	③	14	12	12	17
○活動の幅 ①広がった ②狭まった ③変わらない (※ 元気づくり支援金活用事業とは別に、新たな活動に取り組んだ → ①広がったに計上)	無回答	0	0	0	0

【問6】 活動資金の調達先を次の番号からお選びください。(複数回答可)

	H29	H30	
① 国、県補助金 (補助金名: _____)	①	12	12
② 市町村補助金 (補助金名: _____)	②	12	19
③ 寄付金	③	11	15
④ 構成員の負担金	④	25	26
⑤ グッズ等製品販売	⑤	5	8
⑥ 委託事業等による事業報酬	⑥	15	10
⑦ イベント等参加者負担金	⑦	15	13
⑧ 経費必要なし	⑧	1	0

① 国、県補助金

- 持続化給付金
- GFPグローバル産地づくり推進事業
- 長野県文化芸術活動推進支援事業補助金
- 芸術文化振興基金
- 劇場・音楽堂等機能強化推進事業
- 長野県みらい基金
- 他

② 市町村補助金

- たかぎふるさと祭り補助金
- 青木村農業者応援給付金
- ムトス飯田助成事業
- 小泉山体験の森整備活用事業
- わがまち魅力アップ応援事業
- まちづくり支援補助金
- 科学実験教室推進事業
- わがまち魅力アップ応援事業
- 地元観光協会からの活動予算
- 他

【問7】 活動資金を得るための取組や課題・工夫等あればお願いします。

- SNSを活用したスポンサー募集
- 行政や自治会と連携
- 新商品の開発、安定した生産方法の見直し
- 地元企業からの協賛、イベント時の出店
- 地域密着で活動し、協賛金、寄付金を受けやすくした
- 民間団体からの補助金の調達
- 行政の催しや事業への参画や、補助金情報などの有益情報を得るためにアンテナを高くしている
- 他

【問8-1】 活動を継続していく上で、課題となっていることは何ですか。

(複数回答可)

- ① 資金の確保
- ② 人材の確保
- ③ 他の機関・団体との連携
- ④ 地域住民の理解
- ⑤ 団体運営に関する知識
- ⑥ 今後見込まれる施設・備品等の更新費用の確保
- ⑦ その他(具体的に下欄にお書きください。)

その他		H29	H30
<input type="checkbox"/> 広報活動	①	34	41
<input type="checkbox"/> 構成員の高齢化	②	34	38
<input type="checkbox"/> コロナ禍による活動制限	③	21	20
<input type="checkbox"/> 活動に対する信頼感	④	7	10
<input type="checkbox"/> 利用者のモラル、事故等トラブル発生時の対応	⑤	2	7
<input type="checkbox"/> イベントの幅を広げるために(組織間の)連携が必要	⑥	16	11
他	⑦	11	9

【問8-2】 課題を解決するために必要な支援、事項は何ですか。

(複数回答可)

- ① 国・県・市町村の補助金
- ② 補助金以外の財源確保に関する知識
- ③ 地域活動などの専門知識を有する外部人材の派遣
- ④ 地域づくり団体との情報共有・ネットワークづくり
- ⑤ その他(具体的に下欄にお書きください。)

その他		H29	H30
<input type="checkbox"/> 国・県・市町村の補助金	①	24	36
<input type="checkbox"/> 補助金以外の財源確保に関する知識	②	13	18
<input type="checkbox"/> 地域活動などの専門知識を有する外部人材の派遣	③	10	16
<input type="checkbox"/> 地域づくり団体との情報共有・ネットワークづくり	④	21	26
<input type="checkbox"/> その他(具体的に下欄にお書きください。)	⑤	11	13

その他	
<input type="checkbox"/> 資金面や事業展開、方向性などへのトータル支援(ビジネス化の仕組みづくり)	
<input type="checkbox"/> 事業への継続的な伴走支援(コーディネート、情報提供、相談受付など)	
<input type="checkbox"/> 補助金に頼らない自立した活動体制の構築	
<input type="checkbox"/> 行政が持っている資源や情報、ノウハウの共有及び有効活用	
<input type="checkbox"/> 他団体とのネットワークづくり	
<input type="checkbox"/> 団体構成員数の増加	
<input type="checkbox"/> 活動内容の周知	
<input type="checkbox"/> コロナの終息	
他	

→ 【問10】へお願いします。

【問3】で「③」を選択、又は【問8-1】で「休止・終了する予定の方」

【問9-1】 元気づくり支援金活用事業を実施した後、休止又は終了した年度を記入してください。

休止・終了年度		
	H29	H30
活用した年度	2	1
1年後	4	3
2年後	2	7
3年後	2	0

【問9-2】 活動を休止又は終了した理由を次の番号からお選びください。（複数回答可）

- ① 当初の目的を達成
- ② 資金確保が困難
- ③ 人材確保が困難
- ④ 他の機関・団体との連携不足
- ⑤ 地域住民の理解不足
- ⑥ 団体運営に関する知識不足
- ⑦ モチベーションの低下
- ⑧ その他（具体的に下欄にお書きください。）

	H29	H30
①	7	2
②	2	1
③	2	2
④	1	0
⑤	0	0
⑥	0	0
⑦	0	0
⑧	2	8

その他

- コロナ禍で活動が継続できない
- 災害の影響で休止している
- 目的を変更して活動を継続している

【問10】 元気づくり支援金を活用した経験から、元気づくり支援金の補助内容などに関してのご提案や、これから応募する団体へのアドバイスがあればお書きください。

- 書類手続きが難しい。一生懸命取り組む誰もが申し込めるようにしてほしい。
- 事業の立ち上げに有効な資金確保の一つ。同じような課題を持つ諸団体との連携により事業を発展させていく可能性を高めていければよいと思う。
- 元気づくり支援金を活用することで、アイデアだけで終わっていたことが実現できた。
- 単に物を購入するだけの一過性の事業ではなく、経歴や継続性を重要視して採択して欲しい。また、事業実施後も何らかの継続的支援や県からのアドバイスなどがあると事業の定着化が図れると思う。
- 定期的に活動内容を把握し、実績を上げている団体に対しては応募とは別枠で支援金の助成をお願いしたい。
- 様々な事情により活動継続が難しくなった場合に、同じ取組を他団体などに引き継ぎなどの団体間マッチングができれば地域内でリソース共有もできるのでは。
- 支援金を必要とする方々が知らないことも多いので、もう少し認知度が上がるとさらに希望者が増えるのでは。
- 申請の手続きは面倒に思われるが、補助金はありがたい事業。
- 支援金で初期投資をしたことでその後の活動が広がり、人も集まった。
- 内示の時期をもう少し早めてもらえれば4月から開始できると思う。
- 3年間の支援があったことで、様々なアイデアを我慢することなくチャレンジできた。その結果、継続する方法や見直した方が良いことなどが分かり、活動の継続につながっている。
- 民間団体からも、とても申請しやすい補助金なので、広く浅く補助してほしい。
- 一番ありがたいと感じたのは、活動全般について相談できる雰囲気があり、的確なアドバイスをいただけたこと。
- ソフト、ハード共に、補助率をもっと高くても良いと思う。
- 支援金はあくまでも補完的なものとして、それに頼らず運営できる体制づくりが必要。
- 事業をスタートアップするうえで非常に有益。ただ、申請書や報告書作成に慣れていないとハードルが高い。その辺りへの支援があると、もっと多岐にわたる事業が増えるのでは。

他